

大切な森が、 どんどん減っています

うわー！

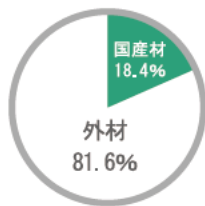
いたそう



国連食糧農業機関 (FAO) によると、1990年から2000年までの10年間で、日本の国土面積の約3.8倍に当たる熱帯の天然林が減少しています。森林の減少や劣化は、「森のめぐみ」を失うことです。それは、私たちの子供へ、「負の遺産」を残すことを意味します。

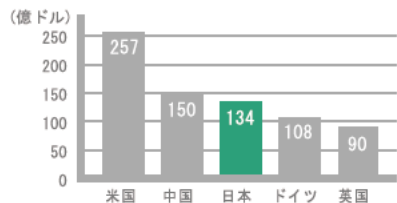
日本は、世界最大規模の木材消費国であり、木材輸入国です。国内で消費する約8割を、海外からの輸入に依存しています。私たちは、世界の森林資源を消費しているのですから、国内のみならず、世界の森林問題に対しても、真剣に取り組んでいかなければなりません。

国産材および外材の供給状況 (2001年)



林野庁「木材需給表」より作成

世界各国の木材輸入額 (2000年)



FAO「FAOSTAT」より作成

森を守る新しい取り組み ～FSC森林認証制度～

具体的な森林保全が進まない中、新しい取り組みが誕生しました。それが、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council ; FSC) による森林認証制度です。これは、森林が適切に管理されているかどうかを、FSCが定めた一定の基準をもって審査するものです。認証された森林から切り出された木材には、FSCのマークを付けることができます。さて、FSCは、会員制の非営利組織です。会員は、環境・社会・経済の立場が異なるグループで構成され、その運営は、「利害関係者のバランス」と「透明性のあるプロセス」によって進められます。



● 実際の認証審査は、公平を期すために、独立した第三者機関がおこないます (第三者認証)



こんなにたくさん!! FSC 認証製品



鉛筆たて



パネルフレーム



キャビネット



ブックスタンド

F S C 森林認証制度のしくみ

F S C森林認証制度では、森林管理の認証（FM認証）と加工・流通過程の管理認証（CoC認証）によって、適切に管理された森林から消費者まで、をつないでいます。



F S Cの原則 (要約)

1. 全ての法律や国際的な取り決め、そしてF S Cの原則を守っている
2. 森林を所有する権利や利用する権利が明確になっている
3. 昔から森に暮らす人々（先住民）の伝統的な権利を尊重している
4. 地域社会や労働者と良好な関係にある
5. 豊かな収穫があり、地域からも愛され利用される森である
6. 多くの生物がすむ豊かな森である
7. 調査された基礎データに基づき、森林管理が計画的に実行されている
8. 適切な森林管理を行っているかどうかを定期的にチェックしている
9. 貴重な自然の森を守っている
10. 人工林の形成が自然の森に影響を及ぼしていない

